

1月の園だより

2019年12月20日発行
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園



平和のメッセージ

園長 加藤 明宏

新しい年2020年をまもなく迎えます。この1年を振り返ると、仮設園舎から新園舎へ、幼稚園から認定こども園へと大きな変化の年でした。これらの変化の中で、子どもたちや保護者の皆さまに戸惑いやご心配をおかけしたこともあったかと思いますが、幼稚園の1年の歩みに、ご協力とご理解をいただきましたことを感謝いたします。

2019年は記憶に残るクリスチャンの世界的指導者が天に召されました。日本人初の国連難民高等弁務官として、世界の難民支援に関わられた緒方貞子さん、永年アフガニスタンに関わり、医師としてだけでなくアフガンの国民やイスラム教に寄り添って、凶弾に倒れた中村哲さん。生前私はお二人の講演を身近に聴く機会がありました。緒方さんの「難民へのリスペクト」「人間の安全保障」という言葉に引き付けられました。また中村さんの「武器よりも信頼関係を」「薬よりもきれいな水を」という考えは、旧約聖書のイザヤ書の「彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない。」という言葉につながります。この言葉はニューヨークの国連本部玄関に掲げられているそうです。お二人の神さまのもとでの安らかなることを祈ります。

クリスマスの祝会では、4学年の子どもたちやご家族の方が一体となった礼拝とページェントを行うことができました。最後の「平和のメッセージ」は、世界の隅々までそして私たちの心の中に響きわたりました。「メッセージ」で今年思い出すのは、38年ぶりに来日したローマ教皇フランシスコさんの長崎や広島などでのメッセージと国連やCOP25で地球の環境問題へのグレタ・トゥーンベリさんのメッセージです。お二人のメッセージは、それぞれ心に残るものでしたが、ページェントでの豊田幼稚園の子どもたちの「平和のメッセージ」は、私たちにもっと身近で大切なことを伝えてくれました。幼稚園の中で友だちとぶつかりながらも、つながって平和に生活すること、祈ること、相手を思いやることの大切さを伝えてくれた気がします。皆様にとって新しい年も、豊かに恵まれた年でありますようにお祈りいたします。



2019年度の年主題：ことばに満たされて～ひびきあう～

1月の主題	1月のねがい
取り組む	<ul style="list-style-type: none"> イエスさまのなされたわざやたとえ話を聞く中で、イエスさまを身近に感じる 好きな遊びを心ゆくまで楽しみ、ものごとや深く関わるのが面白くなりそれが喜びとなる 健康な生活をするために、必要なことを自分からする 伝承遊びを楽しみ、ことばや数を遊びの中で使うのが面白くなる
聖句	<p>わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。</p> <p>(フィリピの信徒への手紙 4章13節)</p>

1月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
			1 祝	2	3	4
5	6 2020年度 いちご・ぐるんば 案内配布開始	7 始業式 あいさつ運動 (~14日)	8 はぐくみ (要予約)	9	10 おもちつき (お弁当)	11
12	13 祝	14 T年長	15 T年中・年少	16 子どもコンサート	17	18
19	20	21 T年長 牛乳パック回収	22 T年中・年少	23 保護者の会 役員選出会	24 誕生会	25
26	27 諸費用引落し	28 T年長	29 マラソン大会 (市木小) 雨天… T年中・年少	30	31	

